



Rotary Club of Komatsu City News



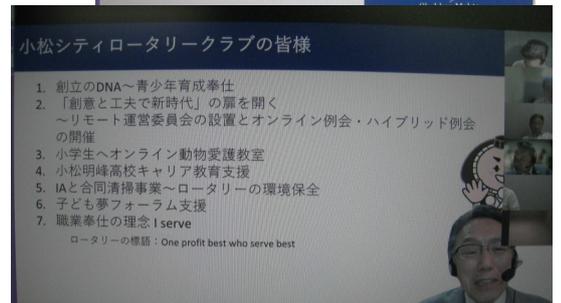
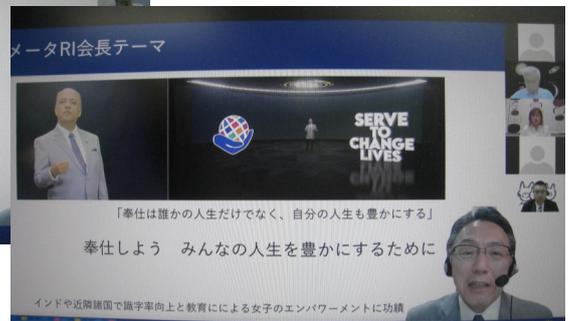
ROTARY Club of
KOMATSU CITY
国際ロータリー第2610地区
1998年3月25日創立

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」

例会会場：〒923-0868 石川県小松市日の出町4-93
ホテルビナリオKOMATSUセントレ2階 毎週月曜日 19:00点鐘
事務所：同上 ホテルビナリオKOMATSUセントレ1F TEL 0761-20-2610 FAX 20-2600
E-Mail: rotarian@sirius.ocn.ne.jp Home-Page: http://www3.ocn.ne.jp/~rotarykc/

2021年9月13日(月) 小松シティRC第987回例会 当クラブ出席率 65.63% (補正出席率65.63%)
ガバナー公式訪問・卓話「ロータリーと地域、そして私たちの仕事」
国際ロータリー第2610地区 ガバナー 神野 正博 様 (七尾RC)



【会長挨拶】

本来なら9月の最終週には小松東ロータリークラブと合同観月例会を行うはずでしたが、残念ながら今年はコロナの影響で中止となります。本年の中秋の名月は9月21日ですが、満月を前にして皆様どんなことを思われますか。ススキ、月見団子、柿や栗、里芋といった秋の実りを連想される方も多いと思いますが、私はそれらとともにウサギを連想します。そして思います。なぜウサギは月に住むことになったのでしょうか？実はこういった逸話がございます。昔むかし、インドにウサギ・キツネ・サル3匹の獣が、ともに熱心に仏教の修行に励んでおり、そこに、今にも倒れそうな老人が現れ、養ってくれる家族もなく貧しく食べるものもないと3匹に訴えました。そこで、サルは木に登って木の実をとって来たり、里に出て村人の果物や野菜をかすめてきて老人に与え、キツネは川原へ行って魚をとって来たり、墓に供えてあった餅や飯をかすめてきて老人に与えました。サルは枯れ枝を拾い集め、キツネがそれに火をつけて、食事の支度を始める。その一方で、ウサギは野を駆けずりま

わり東西南北あちこちを探し求めたが、老人に与えるものは見つけれず、手ぶらで帰ってくるしかなかったそうです。そんなウサギを見て、サルやキツネそして老人までもが、ウサギを笑い、罵りました。しかしウサギは言いました。「確かに己には食べ物を奪って持ってくる力はなかった。ですから、この身を焼いてお食べください」と。そう言うがはやいか、ウサギは火の中にとびこんだそうです。この様子を見ていた老人は、たちまちにして本来の帝釈天（たいしゃくてん）の姿に戻り、すべての生き物たちにこのウサギの善行の姿を見せるために、月の中にウサギを移しました。今でも月には煙のような雲影とウサギの姿があるのはそのため、すべての人が、月を見るたびにこのウサギの行動を思い起こすようにということです。さて、そのウサギですが私のところにも時々受診にやってきます。少し変わった生態をしております、他の動物と異なる特徴としては、耳介が大型なことが挙げられます。音や風のするほうへ耳の正面が向くよう、器用に耳介を動かすことができ、また、毛細血管が透けて見えるこの大きな耳介を風にあてることで体温調節に役立っています。また声を発生する声帯が未発達で鳴くことはほとんどなく、代わりに非言語コミュニケーションを用います。代表的なものは発達した後脚を地面に強く打ち付けるスタンピングで、その主な動機は天敵が接近した場合に仲間へ警戒を促すためであるが、不快な感情を表す際にもこの行動をとる事があります。寿命は長寿化の傾向にあり、最近では平均10～12年とされています。1回の出産時には1-6頭生みますが、受精のメカニズムが特徴的で、交尾により排卵が誘発される交尾排卵動物です。これは猫も同じなのですが交尾した刺激で排卵しますのでとても高い確率で妊娠しますので、雌雄混合で飼育して気が付いたら増えていたということがときどきあります。うさぎには「食糞」つまり自分の便を食べるという習性があります。ただその便は普通のウンチとは別で「盲腸便」というウンチです。盲腸便は、飼い主さんが日頃見ているパチンコ玉の様なコロコロのウンチとは違い、柔らかくて粘液に包まれたブドウの房状のウンチです。この盲腸便には、うさぎが生きていくために必要な栄養素が詰まっています！そのため、うさぎはこの盲腸便を食べて、それに含まれる栄養素を吸収しているのです。この行為は初めてウサギを飼う場合かなり驚かれます。さて、ウサギに関してはまだまだたくさん話題もあるのですが、鈴木家にもウサギがおります。ウサギは獣を食することを禁じられていた時代には、行政をごまかすために昔1羽2羽と数えておりました。我が家のウサギは1963年に生まれのウサギです。終戦後、中島飛行機から改名した富士産業（現スバル）が作った125ccのスクーターでボディは鉄でできています。風貌がウサギに似ていることから「ラビット」とネーミングされております。これを見た嫁が「いつのまにかまたバイクが1台増えた！聞いてない！」と言うので「えっ この前ウサギ1羽買ったって言ったよ！」と言いました。

【幹事報告】

- ・ロータリーリーダーシップ研究会のご案内

【ロータリー情報のコーナー】～高見R情報雑誌委員長～

「小松シティRC ニコニコボックス ガバナー卓話御礼・その他」

- ・ガバナー神野正博様「本日のガバナー公式訪問に際しまして。」
- ・鈴木隆史「国際ロータリー第2610地区ガバナー 神野正博様、ガバナー補佐 辻等様、地区副幹事 木下博安様、本日は当クラブにお越し下さり誠に有難うございます。微力ではありますが地域の為に、創意工夫で事業展開する所存ですので今後共変わらぬご指導、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。」
- ・河北和則「本日は国際ロータリー第2610地区ガバナー 神野正博様、ガバナー公式訪問誠に有難うございます。アドバイス頂きましたオンライン懇親会是非とも開催したいと思っております。今後共ご指導宜しくお願い致します。石川第2グループガバナー補佐 辻等様、地区副幹事 木下博安様、ご多忙の中オンラインでのご訪問心より感謝致します。また今後のご成功、ご発展お祈り申し上げます。」
- ・高見恵子「神野ガバナー本日は当クラブにお越し下さり有難うございます。また懇談会も深いお話有難うございました。」
- ・山崎秀雄「本日は国際ロータリー第2610地区ガバナー 神野正博様、ガバナー補佐 辻等様、地区副幹事 木下博安様、本日は当クラブにお越し下さり誠に有難うございます。ロータリー情報のコーナー高見会員、ご苦労様でした。」
- ・杉本隆「ガバナー神野様、本日はお忙しい中とクラブにご訪問頂き誠に有難うございました。」
- ・大杉忠夫「神野ガバナー他公式訪問の皆様、本日は有難うございます。」

(順不同・敬称略)